

【リリース】

2012年8月28日

東京駅丸の内駅舎 保存・復原工事完成記念イベント

## 東京ステーションフォーラム

9月23日(日) 東京ステーションシティ サピアタワーにて開催  
事前申込制・参加無料/8月28日(火)より応募受付開始

「東京ステーションシティ」は、東京駅とその周辺地域から構成されるエリアの名称です。JR 東日本グループでは、東京ステーションシティの様々な情報を報道関係者の皆様に情報発信する「東京ステーションシティ PR 事務局」を開設しています。

今年で5周年を迎えた東京ステーションシティ サピアタワーにおいて、“東京駅”をテーマとしたフォーラム『東京ステーションフォーラム』を、9月23日(日)に開催します。

国の重要文化財にも指定されている“東京駅”は、1914年に中央停車場から「東京駅」と名称を改め、営業を開始しました。近代化の象徴である赤レンガ駅舎は、その堂々たる姿で多くの人々に愛されてきましたが、1945年戦災により南北のドームや内装などが焼失。戦後、3階建ての駅舎を2階建て駅舎として復興しました。そして、2007年より「保存・復原」工事に着工。本年2012年10月に、創建当時の姿へ復原(※)され、国際都市東京の新たな顔として、完全開業を迎えます。

※「現存する建造物について、後世の修理で改造された部分を原型に戻す」の意で、「復原」を用いております。

本フォーラムでは、100年の歴史をもち、“生きている文化遺産”である東京駅について様々な角度から探求します。当日は二部構成にて、展開。第一部では、建築史家、建築家、工学院大学教授の藤森照信氏を講師としてお招きし、「建築探偵の冒険、東京駅篇」をテーマにキーノートスピーチを行います。続く、第二部では、藤森照信氏、高階秀爾氏、原研哉氏をパネラーとして招聘し、「時代を超えて甦る東京駅のデザイン(仮)」をテーマにわが国の近・現代史における東京駅の社会的役割・価値について、論考します。

『東京ステーションフォーラム』へは、どなたでも無料でご参加いただけます。原則、事前申込制で、8月28日(火)から応募受付を開始します。※本イベントは「東京オトナ大学」特別版として実施します。

### 【実施概要】

- 名称: 東京駅丸の内駅舎 保存・復原工事完成記念イベント 東京ステーションフォーラム
- 日程: 2012年9月23日(日) 14:00~16:45 (受付開始 13:00から)
- 会場: 「東京ステーションコンファレンス」東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー5階 (〒100-0005)
- 主催: 東日本旅客鉄道株式会社
- 協力: 株式会社ジェイアール東日本ビルディング
- 参加: 無料/事前申込制
- 募集人数: 400名
- URL: <http://www.jreast.co.jp/tokyostationforum/> ※8月28日(火)サイトオープン
- 申込方法: 下記の必要事項を記入のうえ、FAXかハガキでお申込ください。  
<必要事項>  
お名前(ふりがな): 姓・名、性別: 男・女  
ご住所(ふりがな): 〒・都道府県・区市・町名・番地・アパート名、電話番号

- 申込先:
  - ・FAX でのお申込 / 03-5821-7111
  - ・ハガキでのお申込 / 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 3-8-16 NOF 神田岩本町ビル 1 階 MBE106「東京ステーションフォーラム」事務局
- 応募締切: 9月5日(水)消印有効
- 備考:
  - ・応募者多数の場合は抽選となります。
  - ・当選の発表は招待状の発送をもってかえさせていただきます。  
なお、招待状は以下の日付までにお送りさせていただきます。  
招待状発送期日:2012年9月13日(木)頃
  - ・当選者に対しては参加証をお送りいたしますので、当日必ずご持参ください。
  - ・お客様からお預かりした個人情報(東京ステーションフォーラムの当選通知およびご案内のみ)を使用します。
  - ・実施内容は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。
- 一般の方からの問い合わせ先:
  - 「東京ステーションフォーラム」事務局
  - (月～金 10時00分～17時00分 ※土日祝日を除く)
  - TEL:03-4588-6402 / FAX:03-5821-7111

### ■ プログラム

#### キーノートスピーチ(14:00～15:00)

- ・テーマ :「建築探偵の冒険、東京駅篇」
- ・内容 :1980年代に丸の内駅舎の取り壊し計画が浮上した際、建築史家としてこれに強く異を唱えたことでも知られる藤森氏。辰野金吾はアムステルダム中央駅を模倣して丸の内駅舎を設計した、という通説を否定する建築史の専門家としての立場から、また、日本の近代西洋建築をこよなく愛する路上観察者としての視点から、氏が最も愛している建築物のひとつである東京駅丸の内駅舎の知られざる魅力について解き明かしていただきます。
- ・講師略歴:

藤森照信 (ふじもり・てるのぶ) 建築史家、建築家、工学院大学教授

1946年長野県生れ。東京大学建築学専攻博士課程修了。東京大学教授を経て現職。

日本近代建築史専攻。「明治の東京計画」「建築探偵の冒険・東京篇」「建築探偵東奔西走」等、建築史・建築探偵・路上観察関係著書多数。86年には赤瀬川原平氏、南伸坊氏らと路上観察学会を結成、歴史的建造物の新しい楽しみ方を提唱、現在も活躍中。

#### シンポジウム(15:15～16:45)

- ・テーマ :「時代を超えて甦る東京駅のデザイン(仮)」
- ・内容 :辰野式ルネサンス様式と呼ばれる高度なデザイン性と独特の様式美をそなえ、新興国家日本を代表する建築物として創建された東京駅。その富国強兵・殖産興業のシンボルともいえる東京駅丸の内駅舎が、戦後は復興と高度成長のシンボルとして100年にわたり人々に愛され続けた理由について、建築デザイン視点から解析していただきます。また、優れた文化遺産としての価値と、一日40万人が利用する最先端の駅機能を融合させた新しい東京丸の内駅舎の、“生きた文化遺産”としての魅力についても解き明かしていただきます。

・パネラー陣略歴:

**藤森照信** (ふじもり・てるのぶ) 建築史家、建築家、工学院大学教授

1946年長野県生れ。東京大学建築学専攻博士課程修了。東京大学教授を経て現職。

日本近代建築史専攻。「明治の東京計画」「建築探偵の冒険・東京篇」「建築探偵東奔西走」等、建築史・建築探偵・路上観察関係著書多数。86年には赤瀬川原平氏、南伸坊氏らと路上観察学会を結成、歴史的建造物の新しい楽しみ方を提唱、現在も活躍中。

**高階秀爾** (たかしな・しゅうじ) 美術史家、美術評論家、東京大学名誉教授、大原美術館館長

1932年(昭和7年)生まれ。美術史学者・美術評論家。東京大学文学部名誉教授。現在、大原美術館館長。啓蒙的役割を果たしたルネッサンス以後の西洋美術を専門としながら、日本近代美術にも造詣が深い。

**原 研哉** (はら・けんや) デザイナー・武蔵野美術大学教授

1958年生まれ。デザイナー。日本デザインセンター代表取締役。武蔵野美術大学教授。独自の視点から日常や人間の諸感覚に潜むデザインの可能性を提起。近年は日本の産業の潜在力を世界に提示する仕事に注力している。東京 ADC 賞グランプリ、毎日デザイン賞他、内外で受賞多数。2011年に北京を皮切りに個展を中国に巡回。主著に、『デザインのデザイン』(岩波書店/2003)、『日本のデザイン』(岩波書店/2011)。

※本資料に記載の情報は2012年8月28日現在の情報で「予定」を含みます。

「東京ステーションシティPR事務局」は「東京ステーションシティPR会議」メンバーの情報発信機関です。PR会議のメンバーは、以下のJR東日本グループ各社などおよび東京ステーションシティPR事務局スタッフで構成されております。

(株)JR東日本ウォータービジネス／(株)JR東日本ステーションリテイリング  
 (株)ジェイアール東日本スポーツ／(株)ジェイアール東日本都市開発  
 (株)ジェイアール東日本ビルディング／ジェイアール東日本フードビジネス(株)  
 (株)JR東日本リテールネット／(株)鉄道会館／日本ホテル(株)／(株)日本レストランエンタプライズ  
 公益財団法人 東日本鉄道文化財団／東日本旅客鉄道(株)

「Tokyo Station City 公式サイト」

<http://www.tokyostationcity.com/>

「Tokyo Station City 倶楽部」

<http://www.tsc-club.com/>